

神戸新聞社の講話を聴いて

私は神戸新聞社さんの講話を聴いて感じたこと、

学んだこと、2つあり、1つ目は神戸新聞社は京都新聞

社と協力し、新聞がたやすく読めるかもという危機感のりこえ

たということ、2つ目は、このことから普段から災害に備えて周りの人たち

と普段から仲良くしておくことが大事だと思いました。2つ目は実際

の阪神淡路大震災では私自身、213人以上に死亡者も多く身内

の人がなくなつた人の悲しみはとてつもないこと、これから家族の人に

対して感謝の気持ちをもつ

神戸新聞社の講話を聴いて

今回の講話で分かったことは、おほい地震は二
わいといふことです。大きな地震でもあり、被害は
大きくかなりの人が死んでしまいました。家族が
友人を失ったし、しさいとしてつらい思いをしたと
言っていて、自分の心にも深さを感じました。これから
も震災のことを心にきざんで生きていこうと思
いは、ありがとうございます。

神戸新聞社の講話を聴いて

しんさいについてためになる話をきくとお
びきた。自分かはおしんあわじだいしんさいに
大きじしんかきたらうしうおはあのかをきたり
そたえおじかんびをして生き残れるようたしんひあたい。
また、このけいけんをかたりかたり、色々あにつた
えて、またい。

神戸新聞社の講話を聴いて

講話の中で一番記憶に残っているのは、救助された人の多くが近所の人たちに助けられていたことです。いまではその当時よりも地域のつながりがうすくなっているので、もと地域のご老人の方たちと関わりをもつのも対策になるのかなと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

ぼくはこの講話を聞いてぼくは
とうじの事について学べました。
また、とうじの新聞者の事について
も知ることができました。新たに
震災に備えることが大切だと書か
りました。

神戸新聞社の講話を聴いて

私はこの講話を耳懸いで神戸の震災について
学ぶことができました。さらに新聞社のことについても
知ることができ、とても興味が強くなりました。そして今回一番学んだことは
かたじけなくこの必要性です。人は何十年もすれば忘れてしま
います。なので地震のおそろしさや、亡くなった人のとばらいを
忘れないようにかたじけなくしていきます。

神戸新聞社の講話を聴いて

講話で聞いた経験などは語り部などの
数が減っている中でとても大切なことだと思っ
ました。聞いた話を元（に）非常時用ブックなど
非常時のための備えなど準備したいです。
講話をしていただきありがとうございました。

神戸新聞社の講話を聴いて

今までいろいろな人の話を聞いてきたけれど
新聞記者という視点で改めて聞いて
るので当時の状況がしんどさがまた一歩理
解することができました。今日、聞いた話を
南海トラフがこれから起こる地震で活し
ていきたいと思います。そのためには準備が大
事なので、かりと入念に準備してください。

神戸新聞社の講話を聴いて

話を聞いて、三好さんの当時思
たことや体験したことを言ってくれて
当時の悲しさや辛さがよりいっそ
う分かりました。新聞者の人たち
の新しい視点の経験も知れて、とても
いい勉強になりました。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の講話を聴いて、自分は当時のかく
を知りました。みんなの為に新聞を命がけで作っているこ
とを知って神戸新聞社さんはすごいなと思いま
した。分かりやすく当時の状況を伝えてくれた
ので私達が次の世代に当時のことを伝えて
いきたいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

講話を聴いて、たくさんの方が亡くなったけれど、それだけで終わらせるのではなくて、忘れずにその思いを繋いでいくことが大切だということ学びました。私たちは震災を経験していいけれど、伝えてもらえたことと、できるだけ鮮明に伝えられるようにしたいです。そして、今元気に動ける私たちが動いて助けられるように、近所付き合いをして、自分の命も守れるように、防災バックや経路を確認したいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

本日はお忙しい中震災について考えを伝えていただきありがとうございます。つねに、これから毎日一日も大切にし、防災バッグの作成など今自分にできる最大限のことはしておきたいです。

地震はいつおこるかわからないが少しずつでもいいから土地震のことを考えて過ごしたいです。

本当にありがとうございます。

神戸新聞社の講話を聴いて

防災講話を聴いて当時どんな感じだったの
かがよく分かりました。ガスや水がとまったり食べ物が
少なかったりなどとても大変だったんだなと思いました。
防災に、必要なことなどたくさん教えてくれた
新聞紙でつくるスリッパはとても簡単にできて
意外とじょうがでした。講話で学んだことを
これからの生活に活用していきたいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の講話を聞いて阪神淡路大震災のときで大震かたしそうで10分間動画を見て改めて新聞社の人々の大震を知らることができました。2時間の講話を通じて対策をいかにしかなければ、怖くも伝えてまいりました。新聞をほぼ毎日朝早く配っているのはすごいと思います。自分にはできないなと思います。この講話をこれからは生かしていきたいと思います。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の講話を聴いて阪神・淡路大震災はどのような地震だったのか地震による被害はどれぐらいだったのかを知ることができました。他にも機械が壊れて新聞が作れなくなっても三ノ宮などの人々の協力によって新聞を作ることができた。聞い人々の協力ってすごいなと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社が地震で大きな被害を受けたことは
知っていたけれど、京都にある新聞社の力をかりて新聞を作っ
ていたことは知らなかったです。その他にも、知らないことがたくさん
あってとてもおどろきました。新聞記者の方たちの大変さも同時に
知りました。

神戸新聞社の講話を聴いて

先日、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。
ご紹介しました。私達は震災を経験しているわけだけど、
当時がどれほど大変だったのかよく分かりました。
ご自身がした体験と併にお話を聞くことで、より現実
味があると思えました。大きな災害を経験している
私達が次の世代に伝えていきたいと思います。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の講話を聴いて、新聞は大切な情報源
だと感じました。当時は今と違ってスマホがなく、
（新しい情報も）
手に入ること少なかった中で、新聞は色々な情報も一處に
わかりやすく集めた分、とても大切だと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

あらためて地震のことについてとても深りました。震災はあらためてとても怖くて小学校のころは大丈夫だろうと思っていました。けれど、あらためて中学校で講話を聞いて地震にむけていろいろと工夫して大地震がおきても死なないうちにしようと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

震災のことをきいて、

地震っていろいろはじめてもよくないと

新めて思いました。地震に

そなえることで生存確率をあげる。

いろいろな視点から、震災について

考え、またのびよかったです。

ありがとうございました。

神戸新聞社の講話を聴いて

話を聞いて、阪神・淡路大震災のことをもと知りました。大きな地震は、

備えがなされたことがなく、どういった感じなのか分からなく、予想ができないけれど、

もし地震が起きても冷静に行動できるようにしたいです。

また、地震が起きなくても、次の世代へと語り継ぎたいなと思いま

した。地震以外の自然災害が起きたとしても、冷静に、考え、

みんなと協力して、いきたいなと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

私は神戸新聞社の方の話聞いて、防災への意識を改めようと思いました。学校では被難訓練をしているけど、家での被災は練習したことがなくて、「床がガラスばかりで歩けない」と聞いて、初めて家での被災について考えることができました。普段ねるときにくつ下やスリッパをベットの近くにおいておこうと思いました。また、習った新聞紙でのスリッパの作り方も覚えておこうと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

今回は、震災時の神戸新聞社さんの被害や神戸の町の様子を、わざわざお話しに来てくださり、本当にありがとうございました。阪神・淡路大震災が起こったときは、まだ私たちは生まれておらず、知らないこともたくさんありますが、今回のように、震災を経験したり、被災された方々が話されたことや、経験したことを、もっと下の世代に伝え、同じようなことが起こらぬよう、未来につなげていきたいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

私たちが知らない世代で、震災の間、何を
していたのか、何かあったのかを理解でき
ました。これからの世代にも震災で
の出来事を知っておくように協力して
いきます。